

★ 土壌分析調査の記載例は20,000m<sup>2</sup>未満の盛土等を想定したものです。

「同一事業区域内で発生する土砂等のみを用いて盛土等を行う場合」の調査方法

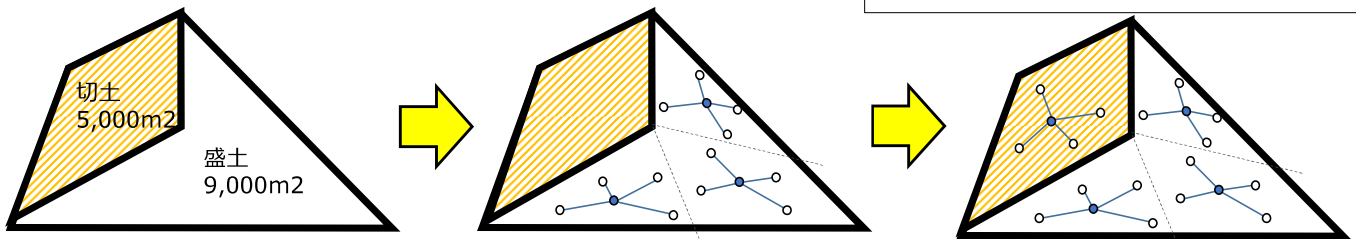
【分析調査箇所の選定の手順】

(例1)

- ・事業区域面積：14,000m<sup>2</sup>
- ・盛土等区域面積(無色)：9,000m<sup>2</sup>
- ・切土区域面積(ハッチ)：5,000m<sup>2</sup>

- ・盛土等区域面積(無色)：9,000m<sup>2</sup>に応じた区分数(3区分)において5地点(29種類)の調査の実施

- ・事業区域面積：14,000m<sup>2</sup>に応じた区分数(4区分)から盛土等区域面積(無色)に応じた区分数(3区分)を差し引いた1区分の調査(5地点、29種類)を切土区域(ハッチ)で実施



★ 5,000m<sup>2</sup>の場合、条例の面積区分では、2区分での分析調査が必要となるが、切土区域の調査は、差し引きによる1区分で可

(例2)

- ・事業区域面積：19,000m<sup>2</sup>
- ・盛土等区域面積(無色)：15,000m<sup>2</sup>
- ・切土区域面積(ハッチ)：4,000m<sup>2</sup>

- ・盛土等区域面積(無色)：15,000m<sup>2</sup> ⇒ 4区分

- ・事業区域面積：19,000m<sup>2</sup> ⇒ 4区分  
盛土等区域面積(無色)：15,000m<sup>2</sup> ⇒ 4区分  
4区分 - 4区分 = 0区分だが、切土区域についても1区分の分析調査を実施

